

令和4年度 経営発達支援事業評価報告書

さつま町商工会 御中

さつま町商工会経営発達支援事業評価委員会

令和4年度の経営発達支援事業の評価結果について、次のとおり報告します。

項目	商工会 評価	委員会 評価	コメント
地域の経済動向調査に関する こと	B	B	過去に実施したもののデータが古くなり活用されて いなかったが、全国商工会連合会が行う「小規模事 業者景気動向調査」を年4回行い活用している。
経営状況の分析に関する こと	B	B	管内の小規模事業者の持続的発展に向けた提供を行 うことは出来ているが、金融支援の活用に残って いる。ペア巡回を行い事業所の悩みや現状を聞きだ す、各種相談の足掛かりとしている。
事業計画策定支援に関する こと	B	B	持続化補助金などの補助金活用時や創業計画書、経 営改善計画書等の作成における金融支援等の機会を 通じて実施できているが、受動的な取組みに残っ ている。事業計画書作成セミナー・創業セミナーを 実施して支援している。
事業計画策定後の実施支援に 関すること	C	C	マル経融資や持続化補助金の事業期間中の支援は行 えている支援ツールは作成に至らず、必要時各種専 門家派遣の活用を行った。
需要動向調査に関する こと	B	B	当地域の特産品となる、「黒毛和牛タケノコ丼」を 開発し地域の特産品として販売してきた調査につ いては重点支援産業の調査項目が不足している。
新たな需要の開拓に寄与する 事業に関する こと	B	B	商談会や展示会等への参加支援を行えたが、ITを 活用した販路開拓等が不十分であった。
地域経済活性化に資する取組	C	C	さつま町地域活性化協議会の設立には至らなかつ たが、関係機関と連携協力に努力した。
事業の円滑な実施に向けた支 援力向上のための取組	B	B	通年で他団体との連携、資質向上事業の実施・参加 に努め事業の評価検証を行った。
全体報告（総合評価）	B	B	計画策定時には想定していなかった「新型コロナウ イルス感染症」の影響により実施できていない事業 が複数あるが、総合的にはB評価6項目。C評価2 項目となっており、B評価が妥当なもの判断して いる。今回の課題・問題点を検討し、次回の計画に 反映させていきたい。

※評価の目安 A：目標を達成することができた。（100%）

B：目標を概ね達成することができた。（80%～99%）

C：目標を半分程度しか達成することができなかった。（30%～79%）

D：目標をほとんど達成することができなかった。（30%未満）